



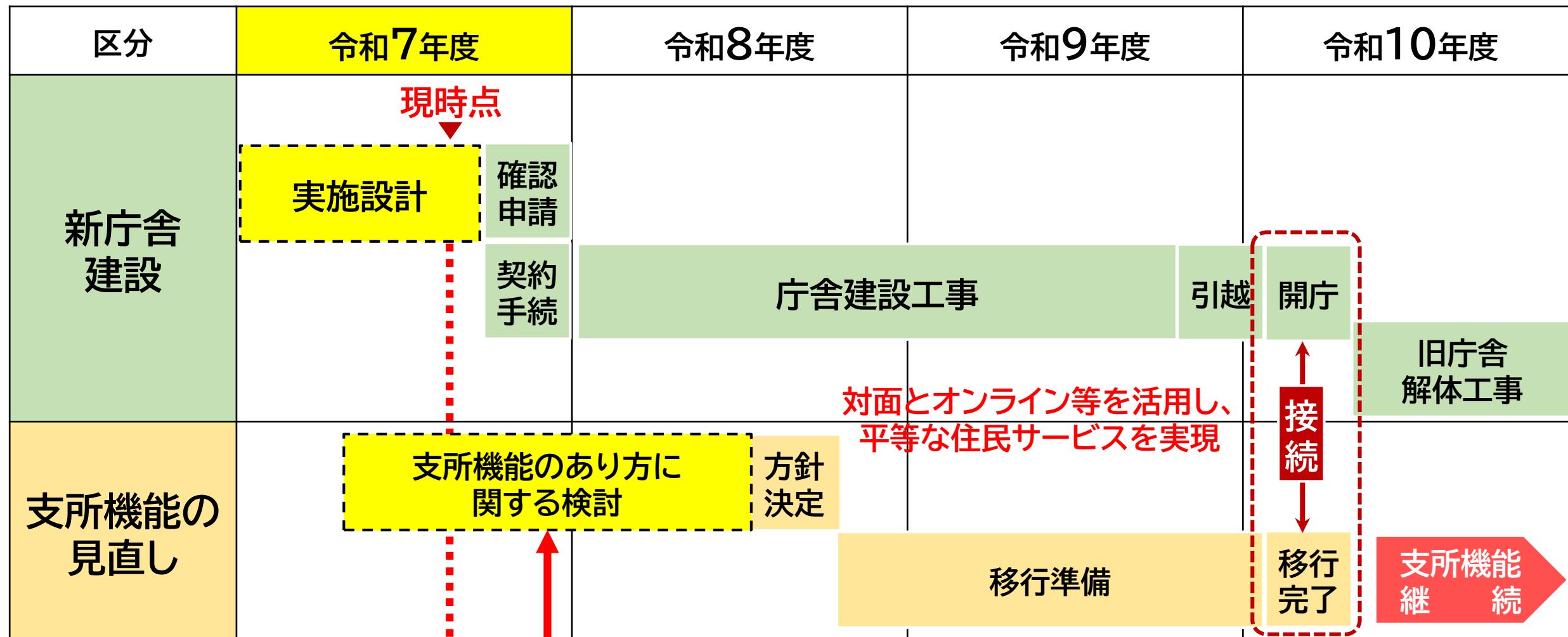
令和7年度 町政懇談会



本日の懇談会テーマ

- ◆新庁舎整備の進捗状況
- ◆加美病院の経営改善
- ◆健康アプリの導入
- ◆町の公共交通
- ◆中新田商店街活性化
- ◆やくらいゴルフ場土地に係る訴訟について
- ◆子育て支援の充実
- ◆町が目指す教育の姿、志教育・探究学習

新庁舎整備の進捗状況～スケジュール～



新庁舎を核として、**各支所の機能強化**（公共施設再編）による住民の利便性向上を図り、全町的な新しい行政サービスの提供を目指します。

新庁舎整備の進捗状況～庁舎イメージ～



風土に根差した加美町らしい庁舎
災害によく、職員が働きやすい庁舎
まちをつなぎ、町民とともに歩む庁舎



＜配置計画＞

- 建物で町特有の西からの強風を遮り、東にエントランス、車寄せ、駐車場を設け、利用者の利便性に配慮します。
- 1階を高く設定し、大雨浸水に対する安全性を確保します。

＜3階＞ 創造(議)のフロア

- 北に議会スペース、南にみんなで町を考え、運営する場を設け『創造(議)のフロア』とします。

＜2階＞ 執務のフロア

- L型の外周を執務スペース、内側を来庁者とのコンタクトゾーンとします。
- 南に多目的利用可能なワークスペースを設け、のびやかな『執務のフロア』とします。

＜1階＞ みんなのフロア

- 北に町民利用の多い窓口、南に町民や職員の共用部を設け、利用しやすい『みんなのフロア』とします。
- 南の共用スペースには出入口を設け、会議やイベント等も行える中央の土間的空間を『集いの庭』とします。



新庁舎整備の進捗状況～総事業費～

現在の試算

※R7.3 基本設計完了時点

項目	金額(億円)	内 容
庁舎建築費	30.1	鉄骨造3階建5,500m ²
調査設計費	2.8	基本・実施設計、工事管理等
備品購入費	1.5	机、椅子、書類棚など
外構整備費	3.0	総駐車台数 297台
現庁舎解体費	1.5	現庁舎、福祉会館
移転経費等	0.6	通信設備等移設、引越等
合計	39.5 億円	

新庁舎整備の進捗状況～事業費の財源～

「合併特例債」の活用で町負担を軽減

合併した市町村が発行できる**地方債（借入金）**。

借入であるため返済が必要だが、将来支払う**返済金の70%が普通交付税で措置**。

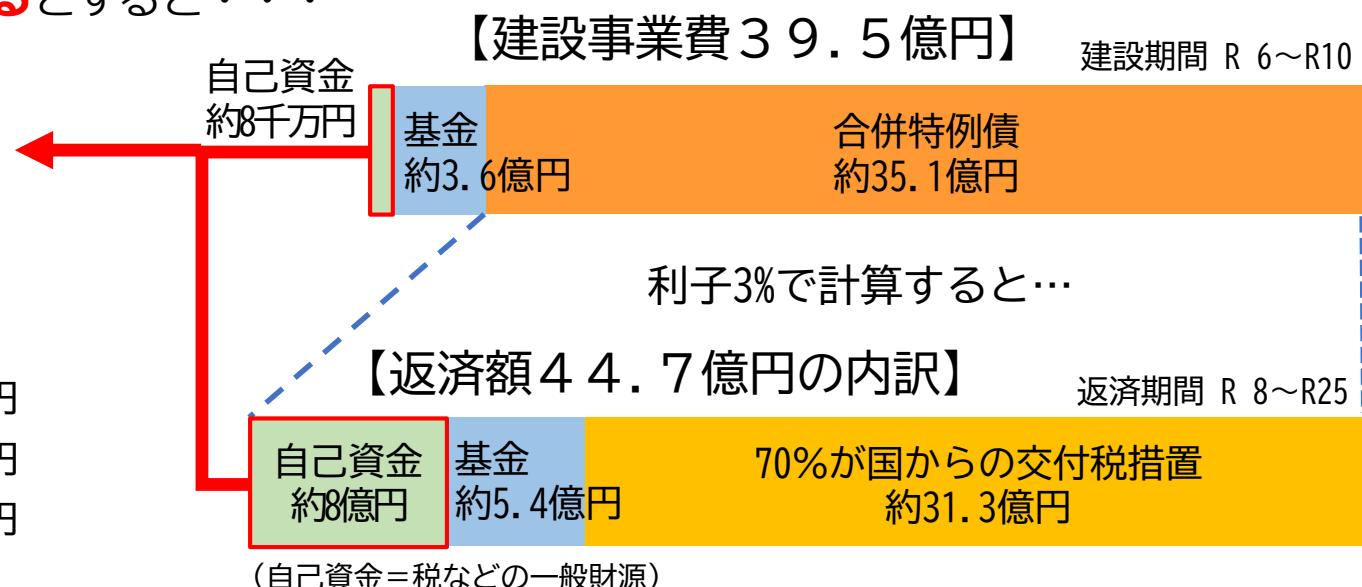
→実質的な町の負担は**約4分の1程度まで軽減**されるため、**非常に有利**

試算

建設事業費を**39.5億円**（R6試算値）とし、庁舎整備基金から**3.6億円**（貯金の取り崩し）使って、残りに**合併特例債を充てる**とすると…

約**8.8億円**が
町の実質的負担額

R06年～R10年 建設に係る自己資金 約0.8億円
R08年～R25年 返済に係る自己資金 約8億円
計 約8.8億円

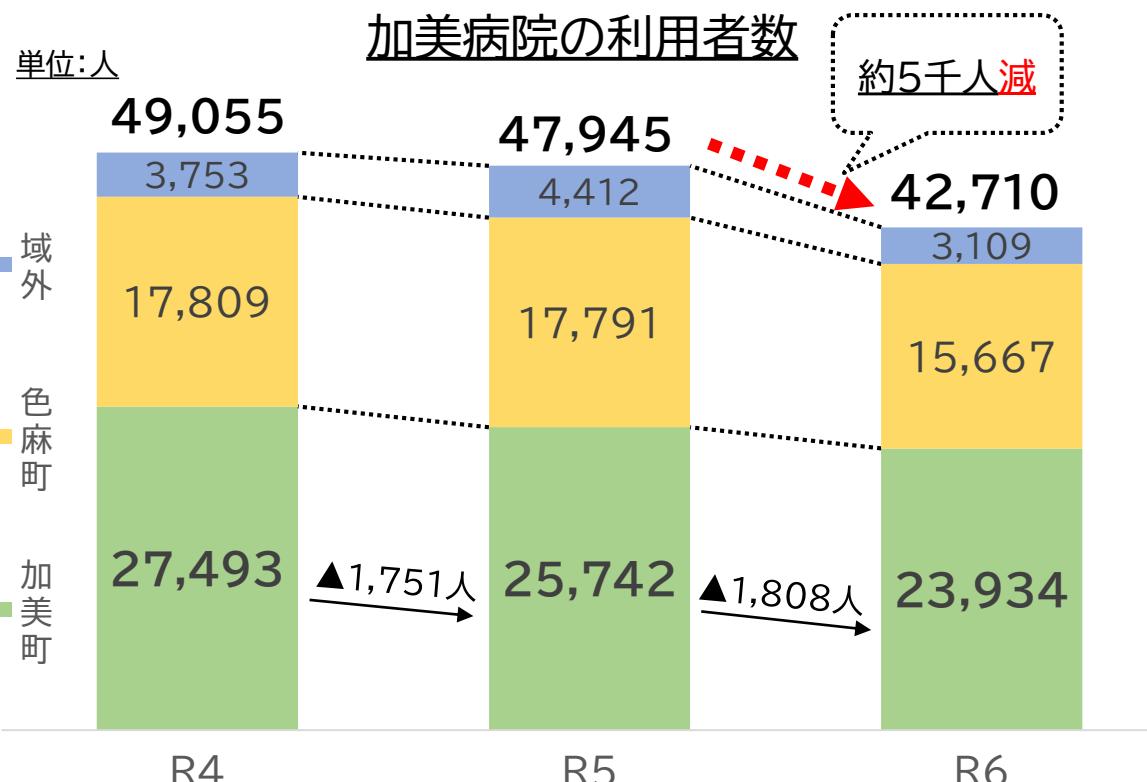




加美病院の経営改善～現状～

利用者数

2年間で
約6,300人減



負担金

前年度から
約1.8億円増

※涌谷町は、「涌谷町国保病院」と「老健施設」への負担金。

加美郡保健医療福祉行政事務組合への負担金

単位:千円

※加美老健への
負担金含む。

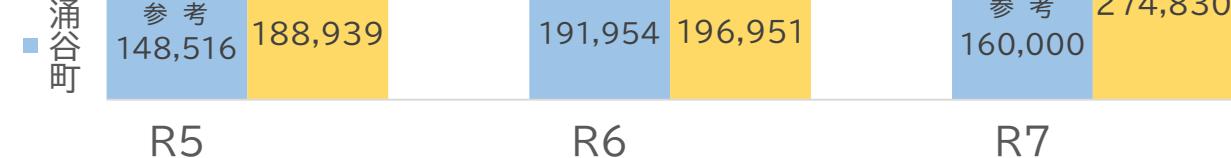
加美町

色麻町

涌谷町

加美町の負担
約1億円増

2町で
約7億円負担



H14年から
24年間で…

約100億円負担済

加美町:5,775百万円
色麻町:3,998百万円

利用者数減により
負担金増額

地域に根差した病院として見直しが必要



「経営形態検討 第三者委員会」で調査・検討

◆調査・検討事項

- 「加美病院」と「加美老人保健施設」の地域医療における役割
- 「経営改善」と「経営形態」の見直し

9月26日
設 置

◆委員構成

- 8名（医療・介護など各般の専門家、有識者）

◆スケジュール

- 9～12月 委員会開催（全5回予定）
- 令和8年1月 調査・検討結果を答申



答申を受け、改善方針等を決定 (令和7年度中)



健康アプリの導入～現状～

不健康な期間※
県内順位

→ワースト4位…
→ワースト2位…

加美町は

病気になる人が多い！？

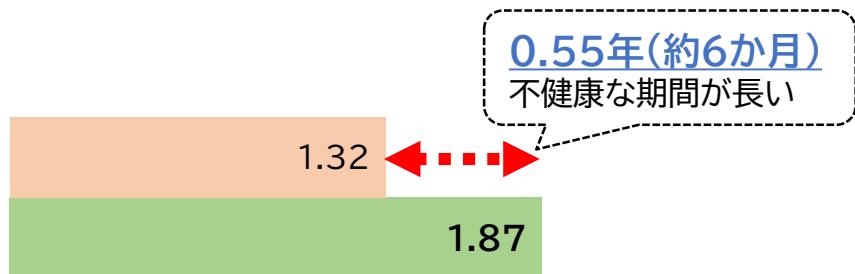
※不健康な期間…【平均寿命－健康寿命】

R4年 不健康な期間 – 加美町と宮城県の比較 –

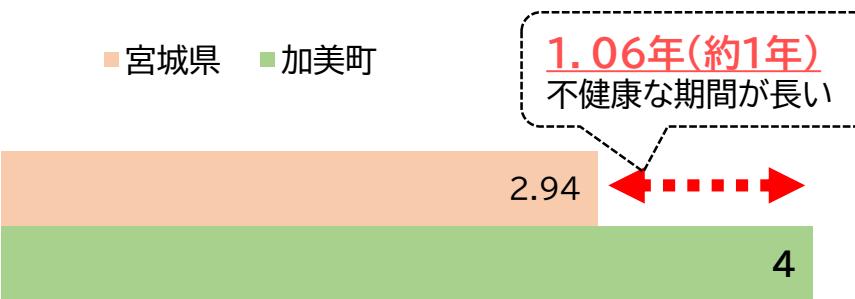
単位:年



男性



女性



原因の一つは
運動不足！

1日6,000歩以上
歩く人の割合
「15.6%」
※県内でも低い。

運動不足は、脳卒中や糖尿病
などの生活習慣病につながる
だ～ご…
みんなが健康でいるためには、
何が必要だ～ご？



出典:データから見たみやぎの健康(概要版)



健康アプリの導入～取り組み～

歩いて健康に



肥満解消
生活習慣病の予防
骨の強化
快眠・安眠
地域の良さも
知ることができる

事業内容（案）

目標歩数・健診・健康教室などに参加

18歳以上
町民
在勤者



歩きたくなる 仕組みづくり

楽しみながら
できる

健康意識
が高まる

継続
できる

令和8年度
秋こころ



健康アプリ 導入

楽しみながら
運動して健康に
なるだ～ご！



ポイント付与



デジタル商品券・地域商品券
贈呈

【抽選】
・ポイント達成者
・事業参加者 等





町の公共交通～現状～

子育て世帯のニーズに応じた取り組みを実施

西古川駅への通学バス

小野田・宮崎地区から西古川駅まで、住民バスを運行しています。

- ◆ルート ①田中～鹿原～小野田支所～西古川駅
②旭～宮崎支所～賀美石～広原～西古川駅
- ◆運行日 平日のみ(朝・夕の計3便)
- ◆運賃 片道150円



通学定期券購入助成

通学に公共交通を利用している学生の定期券購入費を補助しています。

- ◆対象者 町内在住で、通学に公共交通を利用している中学生・高校生

- ◆対象公共交通 住民バス、路線バス、高速バス、鉄道(特急除く)

- ◆補助金 通学定期券の購入金額を最大2万円補助
※定期券の購入金額によって異なります。

町の公共交通～AIデマンドバス実証運行～

デマンドバス「楽ちんワゴン」が当日予約可能に！

実証運行
スタート

11月4日(火)～ 宮崎地区

12月1日(月)～ 中新田・小野田地区

片道
500円



トヨタ自動車(株)先進プロジェクト
推進部がサポート

これまでより便利になるポイント



各便始発の1時間前まで予約が可能
スマホまたは電話でも予約OK



乗降時にタッチカード(orスマホ)を
かざして、利用者を自動確認



AIが最適なルートを作成
バスセンター職員や運転手の業務軽減



中新田商店街活性化～取り組み～

令和 6 年度

商店街を中心とした
まちづくりを考える

中新田商店街活性化委員会 を設立

検討
事項

- ①空き店舗対策と西田町有地など空き地利活用
- ②商店街をストリートとしての活用
- ③歴史と文化を大事にする **コンセプト「和と美」**



(初午まつり前夜祭)

令和 7 年度

- ①商店街活性化に向けた**地域おこし協力隊の採用**
- ②商店街既存**イベントの更なる活性化**
 - ・初午まつり→前夜祭開催と中新田高校イベント支援
 - ・宵一緒まつり→七夕飾りと子供達のパレードの復活
- ③**宮城大学**に中新田商店街調査業務を委託



(七夕飾り)

やくらいゴルフ場土地に係る訴訟について

＜経緯＞

- R3.4.23 ゴルフ場運営会社が町から9,500万円で土地を取得
- 同日 4億円で太陽光発電事業者へ土地建物を売買 所有移転仮登記
- R5.6.30 太陽光発電事業者C社に所有権移転登記
- R5.11 2024シーズンでゴルフ場営業終了とゴルフ場で太陽光発電所の設置が表明される
- R6.7 議会から町へ要請
議会全会一致で太陽光発電事業に反対
実態調査と法的措置の検討を町へ要請
- R6.8 町が土地返還を求め訴訟提起
ゴルフ場運営会社、太陽光発電事業者も町を提訴

＜訴訟の状況＞

加美町

3者へ、土地所有権の確認、土地の返還
(所有権移転手続き)を求める

町へ、
損害賠償金1,000万円
河北新報へ謝罪広告
を求める

ゴルフ場運営会社
A社

町へ、
土地所有権の
確認を求める

太陽光発電事業者
B社 **C社**

互いの主張は『こう着状態』



子育て支援の充実～取り組み～

目指すのは…

加美町
らしい！

「こどもまんなか社会」の実現！

ホップ

R6年度

- 病児保育
- 特別支援保育
- こども食堂試行



ステップ

R7年度

- こども家庭センター設置
- 子どもの生活支援事業
(こども食堂 with児童クラブ、
寺子屋・こどもまんなかBG塾)
- 病児保育
- 特別支援保育
- こども食堂立ち上げ支援



ジャンプ！

R8年度

- ファミリーサポートセンター
- こども食堂 + α
- こども家庭センター設置
- 子どもの生活支援事業
(こども食堂 with児童クラブ、
寺子屋・こどもまんなかBG塾)
- 病児保育
- 特別支援保育



加美町の教育の目指す姿

学校教育の目標

「心身ともに健康で、知徳体の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指すとともに、生涯学習の基礎を培い、生きる力の育成に努める」

目指す子ども像

「夢や志をもち、郷土愛にあふれ、
可能性に挑戦し続けるやさしくたくましい子ども」

主体的に学び続ける児童生徒の育成

「加美町の12年間の連続した学び」を支える4つの重点施策

学ぶ土台づくり



人格形成の基礎となる幼児期の土台づくりと、幼児教育と学校教育の円滑な接続を強化する

魅力ある学校づくり



児童生徒の思いを最大限に生かした、子どもたちにとって魅力ある学校づくりを推進する

加美志探究総合プロジェクト



地域の教育力を多様な方法で学校教育に取り入れながら、将来を生きる方向性を主体的に定めさせていく

学ぶ力向上プロジェクト



「学ぶことが楽しい授業・学習者主体の授業」を通して、児童・生徒が自ら「学ぶ力」の向上を図る

加美町の「志教育」

「加美志探究総合プロジェクト(KKTS)」

志教育 “スイッチオン！”

外部講師（吉本興業所属芸人）ぜんじろう 氏

挑戦し続け、失敗から立ち直り、自立して生きる姿勢と方法論、表現のユーモアについて学ぶ。

KKTSアドバイザー

東北文教大学特任講師 大谷敦司 氏

探究学習を中心とした志教育を追究するため、アドバイザーからの指導・助言を受けて、子ども主体の探究的な学びの推進を図る。

令和7年11月14日（金）開催

「The Fes!!!!（探究フェスティバル）」
～探究でつなぐ未来の一歩～

子どもの学びをつなぎ・広め・深める発表の場。

小学校・中学校・高校が連携し、子どもたちが企画。

夢をいだいて 大海を目指そう

～ふるさと加美町に誇りをもち ふるさとを語れる大人に～

志教育テーマ

令和7年10月4日（土）

志教育 “スイッチオン！” 町民ライブ



小・中学校の子どもたちが、家族や友人、身近な人、加美町愛について、ユーモラスに発表。



志教育の効果

※全国平均比較

今住んでいる
地域が好き
UP

地域や社会を
より良くするために
何かしたい
UP

地域や社会のた
めに実際に
活動した
UP